



平成 20 年 4 月 23 日

北但行政事務組合  
管理者 中貝 宗治 様

広域ごみ・汚泥処理施設候補地選定委員会

委員長 寺嶋 均



広域ごみ・汚泥処理施設候補地選定の結果について(報告)

みだしのことについて、本日開催した第 11 回選定委員会において、下記のとおり選定したので報告します。

なお、この選定結果は、昨年 11 月から開催した選定委員会、先進地視察、候補地の現地確認を行うなど慎重に審議、検証等を踏まえ、選定したものであることを申し添えます。

また、今回の選定地において循環型社会の実現にふさわしい、環境創造の取り組みがなされるよう期待するものです。

記

1. 選定候補地 森本・坊岡区(豊岡市竹野町)
2. 選定理由 別紙のとおり

選定候補地名	選定をした理由
森本・坊岡区	<p>森本区は総会において、候補地として選定された場合、同地区として受けるか否かについて諮られ、その結果、候補地として受けることとなった。また、坊岡区についても同様に、全体集会で候補地として選定された場合には、容認することとなり、両区とも区としての理解度は高いと思われる。</p> <p>進入路については、現市道を拡幅しないことを望まれており、組合が説明会等での意見を基に検討した結果、当初木谷川左岸沿いに計画していたものを右岸沿いに変更し、民家からさらに離す計画とすることも可能であると見込まれる。</p> <p>また、敷地・進入路工事の難易度については、概算事業費においては3候補地に大きな差は無い。</p> <p>収集運搬効率においては、特に大きな差はないが、3候補地の中で最も優れている。</p> <p>以上のことから総合的な観点において、当候補地を選定した。</p> <p>但し、今後の建設推進に当たっては、地元区の要望を踏まえて隣接区等への理解を求める最大限の努力が必要である。</p>

## 森本・坊岡区以外の候補地について

候補地名	今回選定をするに至らなかった理由
小河江・八代区	<p>課題となっていた国交省による河道掘削土埋立て後の施設建設の工期については、特に支障はないと見込まれることになったが、軟弱土(有機質土)の長期的対策が課題として残る。</p> <p>また、八代区から施設候補地選定についての「申し入れ書」が、八代地区区長会から反対の「申し入れ書」がそれぞれ組合に提出されている。</p> <p>従って、理解を求めるためには、時間を要すると思われる。</p> <p>このため、当該地区は建設に至るまでに相当期間を要することから、今回は見送ることとした。</p>
口小野・袴狭区	<p>施設用地が調整池と施設建設用地に分離されるため、将来にわたって維持管理上の課題が残る。</p> <p>収集運搬効率においては、特に大きな差はないが、3候補地の中では最も劣っている。</p> <p>また袴狭区において、営農者の風評被害を懸念する声が増しに強まり、区としての姿勢も後退していると思われる。</p> <p>このため、当該地区は建設に至るまでに相当期間を要することから、今回は見送ることとした。</p>